

次の、おいしさへ。

JAめむろ

夢あじり

2026

3

vol. 631

令和8年度 冬期懇談会



トップニュース
冬期懇談会開かれる

JAめむろ
Instagram



JAめむろ
HP



冬期懇談会開かれる

1月30日および2月2日から4日にかけて、冬期懇談会を開催しました。「地区別懇談会」では令和8年度事業計画の説明を、「女性農業者研修懇談会」では「もっと芽室のおいしさを知ろう！パート2」と題した試食会をメインに、「青年農業者研修懇談会」では「JAグループの要請活動の取組み」などを題材とした勉強会をメインに据えた、3タイプの構成とし、のべ361名の組合員の皆さまにご参加いただきました。

各懇談会会場でいただいた貴重なご意見・ご要望は、「懇談会の主な意見・要望」として取りまとめ、同封いたしましたのでご一読ください。



1/30開催 女性農業者研修懇談会



2/4開催 青年農業者研修懇談会

第98回臨時総代会の開催について

令和8年度事業計画の設定についてなどを審議していただきます。

総代会は総会に代わるべき機関として設定されており、組合員の代表であることの責務を認識いただき、総代全員が出席くださいますようお願い申し上げます。

なお、当日出席できない方は**議決権行使書面**、または**委任状**のどちらかの方法で議決権の行使をお願いいたします。

議決権行使書面を提出する場合は、総代会前営業日（3月24日）の午後5時までに管理部管理経理課へ提出願います。

委任をされる場合は、委任状に必要事項を記入押印のうえ、当日出席される総代または正組合員にお渡し願います。

なお、委任を受ける場合は2名以上の委任を受けることができませんのでご留意くださいますようお願い申し上げます。

日 時	3月25日（水）
受 付	午前9時00分
開 会	午前9時30分
会 場	農協本部事務所 2階大会議室

今月の 夢あ@

- P 2 冬期懇談会開かれる
第98回臨時総代会の開催について
- P 3 F A X ・ J A コネクト担当部署の変更について
総代研修講演会開催される
- P 4 第24回めむろの恵みフェスタ
めぐり広場
- P 5 J A 女性部(女性部情報)
- P 7 J A Y O U T H (青年部情報)
- P 8 芽室町長芋生産組合 冬期研修会

- P 8 冬季仕事体験会(第1回)を開催しました！
- P 9 労災保険について
- P 10 農作業安全研修会を開催しました
農業者年金説明会を開催しました
- P 11 農業者年金
気になる iDeCo との違いを徹底解説
- P 12 こんにちは！経済部です
- P 13 理事会だより
連載 J A の基礎【報徳編】
- P 14 芽室町農協史
- P 16 毎日いきいき元気に！「いきいきりハビリ
教室」申し込み受付中

FAX・JAコネクト担当部署の変更について

第四次システムへの移行に伴い、FAX・JAコネクトの担当部署が営農情報課から管理経理課へ変更となります。

お問合せ先につきましては、下記のとおりとなりますのでお知らせいたします。

令和8年3月まで

→ 営農部営農情報課 62-2313

令和8年4月以降

→ 管理部管理経理課 62-2311

総代研修講演会開催される

1月22日、農協大会議室で総代研修講演会が開催され、農協総代のほか、農協役員、農協青年部・女性部の役員・支部長、関係機関など、106名の出席により盛会におこなわれました。

本年の総代研修講演会は2部構成でおこない、JA北海道中央会帯広支所 大関翔太郎氏より「第31回JA北海道大会決議事項について」をテーマとした研修の後、北海道大学大学院 小林国之准教授による「対話から築く協同による芽室町農業」と題した講演会が開催されました。

講演では、「近年、デジタル化が急速に発達しており、その恩恵は多大なものである一方、世代間の交流の減少など人と人とのつながりや対話が希薄になっている」と述べ、「かつては地域の中で人づくりがなされ、そのなかで農業技術や経験、農協の意義についても伝えられてきた。地域コミュニティの弱まりなど、人と人とのつながりが弱まるなかでこれに代わるものが必要である。また、現在は不確実で何が正解か分からないやっかいな時代に突入しており、そこで必要となるのが仲間である。色々な価値をもった人たちがそれぞれの強みを活かしながら、共に試行錯誤し地域農業をつくっていくことでJAと組合員、また、組合員同士の間で『関係を耕す』ことに繋がる。仲間との『対話』を通じて信頼関係をより強固なものとし、協同によりこれからの芽室町農業を発展させていくことが大切である」と語られました。出席者は皆、真剣な趣で耳を傾け、盛会裏に終了しました。



北海道大学大学院 小林国之准教授

第24回めむろの恵みフェスタ

—女性部、コスモスの会もフェスタを盛り上げました！—

1月24日、めむろ一どにて、第24回めむろの恵みフェスタ（同運営委員会主催）が開催されました。本イベントは、農村女性の活躍発信と農業への理解促進、生産者と消費者の継続的な交流の場として開催され、今年はJAめむろ女性部、JAコスモスの会を含む9グループが出店し、イベントを盛り上げました。

JAコスモスの会は、会員が持ち寄った押し花シールなどの手作り品・農産物などの販売や押し花体験コーナー「しおり作り」、女性部は「十勝めむろえだまめ」と「十勝めむろえだまめ 極」の食べ比べ（無料試食）で十勝めむろえだまめの美味しさをアピールしました。

イベントの最後には抽選会も開催され、多くの来場者の方に楽しんでいただき、大盛況のうちに終了しました。



えだまめの食べ比べ大好評でした！
（JAめむろ女性部）



綺麗な押し花を使った「しおり作り」
（JAコスモスの会）



めぐり広場

農事組合▶ 上伏古

氏名（年齢、就農年数）

鳥本 来紀さん

（26歳、4年目）

経営主▶ 鳥本 和宏さん



◆趣味、特技は何ですか？

バレーボール

◆自分性格を一言で表すと？

明るい

◆一番のやりがいは？

自分の作った野菜を美味しいと食べてもらえたとき

◆今特に力を入れていることはありますか？

農薬低減につとめたいことから微生物や有機物、菌を利用して土壌環境を整える

◆変わった取り組みはありますか？

さつまいも栽培

◆農業で学び、実感したことは？

土の環境を整えることが大切

◆今までの成功、失敗エピソードは？

成功はバレーボールで全国ベスト8、失敗は留学がコロナウイルスで中止になったこと

フレッシュミズスポーツ大会

1月19日、芽室町総合体育館でフレッシュミズスポーツ大会が開催され、部員27名が参加しました。

本年度はスポーツレクを企画し、交流を深めました。4チーム対抗で、①レシピゲーム（指定の食材を集めてゴールする速さを競う）、②ジェスチャーゲーム、③大縄跳びの3種目で大盛り上がり。優勝はBチームの中村結佳さん（中央西）、野川沙奈恵さん（上伏古）、川合咲江さん（坂の上）、竹内愛実さん（中伏古）、坂下ちなつさん（芽室）となりました。

大会後には、懇親会が企画され、中華料理 桃酔でおいしい料理に舌鼓を打ちながら、さらに交流を深め、盛会裏の内に終了しました。



左から 川合さん、中村さん、竹内さん、坂下さん、野川さん

JA十勝地区女性協議会 フレッシュミズ学習会

1月22日、農協連ビルにて「JA十勝地区女性協議会 令和7年度フレッシュミズ学習会」が開催されました。十勝地区の部員・事務局あわせて約60名が参加し、当JAフレッシュミズ部員9名も出席しました。

本年度はNatural aroma life代表 本間知恵子氏を講師に迎え、「押し花キャンドル体験教室」を実施。冒頭の講話では、キャンドルの安全な使い方に加え、「キャンドルを眺める時間は心を癒す。忙しい日々の中でも、そのひとときを大切にしてほしい」とのメッセージをいただきました。

体験では、参加者一人ひとりに異なる押し花が配布され、互いに交換し合うなどの交流を通じて、個性豊かな作品づくりがすすみました。会場は大いに盛り上がり、参加者からは「30分延長したい」との声が上がるほど。時間いっぱいまで作品のクオリティ向上に取り組み、学びと楽しさに満ちたひとときになりました。



参加したJAめむろフレッシュミズ部員

たくさんのお申し込みを
お待ちしております！

女性部部員募集中！



女性部では、令和8年度の新入部員を募集しています。女性部の様々な活動や研修と一緒に参加しませんか？フレッシュミズ、中堅、もみじ会の3部制となっており、女性部全体での活動および各所で様々な研修や活動をしています。以前に脱退された方で再加入を検討されている方、支部のない地域の方も芽室支部として活動できますのでご相談ください。

JAめむろの正組合員またはその家族の女性であれば、どなたでも加入できますので、皆さんの加入を心からお待ちしております。

活動内容の詳細と入部申し込み書につきましては3月の全戸発送に同封した文書をご覧ください。

お申し込み・お問い合わせは女性部事務局（営農部 営農情報課 TEL62-2313）まで。

もみじ会冬期学習会 ～脳を活性化！認知症予防～

1月26日、農協大会議室でもみじ会会員31名出席のもと、冬期学習会が開催されました。

今年度は「認知症予防」をテーマに、公立芽室病院副院長（兼）看護師長である岡山有美子氏を講師にお迎えしました。看護師としての実体験、認知症の母親との関わりを交えたわかりやすい講演をいただき、負けるじゃんけんや指体操など、日常に取り入れる簡単予防法も紹介されました。

「認知症でも感情は積み重なる」「できることはたくさんある」とのメッセージや、岡山氏の娘さんの成人式で母が着付け師だった頃の腕前を發揮したエピソードでは涙する場面も。質疑では「私たちがすべきことは？」との質問に、「認知症と他の病気が重なると大変」と回答され、血圧など気になる健康課題を放置しない大切さが強調され、「必ず改善する」と前向きな励ましが送られました。



負けるじゃんけんに挑戦する参加者

女性理事との懇談会、女性部懇談会

1月27日、農協大会議室で女性部部員121名（役員含む）出席のもと、三上ますみ理事、大道まみ子理事、山川優紀理事3名の農協理事との懇談会ならびに女性部懇談会が開催されました。

女性理事との懇談会は「女性理事に聞いてみよう！」をテーマに、部員から事前に募集した質問内容をまとめ、司会が理事にインタビューをする形式ですすみました。インタビューでは就任時の心境や、家族の反応を問うものから、農協理事としての経験や今後の展望を伺うなど幅広い質問が投げかけられ、理事からは一つひとつ丁寧な回答がありました。会場では笑いが起きる場面や、深くうなづく姿も見られ、農協事業や女性参画への理解が一層深まりました。

女性部懇談会では、令和7年度の活動報告や役員手当の見直しに係る事項、その他周知事項などについて、役員より説明をおこない、女性部事業の相互理解をはかりました。



女性理事との懇談会



女性部懇談会

青年部冬期研修会を開催 ～盟友72名が参加～

1月28日、盟友72名参加のもと冬期研修会を開催しました。

「バイオスティミュラント資材を用いた気候変動対策」と題して株式会社 AGRI SMILE の林氏と更別村農業協同組合の小野氏に基調講演をしていただきました。常勤役員をはじめ役員の方々にもご出席いただき、支部活動、国内・海外視察研修、PR 活動の報告をおこないました。

また、北海道議会議員の黒田栄継氏に若手農業者の現場の声を政策に反映していただきたく、JAめむろ青年部ポリシーブックを基に作成した要請書を提出しました。

冬期研修会終了後には交流会を開催し、1年間活動を共に過ごした部員同士で懇親を深めました。青年部組織の結集強化と活動への意識や技術の向上がはかられた研修会となりました。



基調講演



交流会



要請書を提出
(左 黒田氏、右 梶澤青年部長)

十勝地区農協青年部協議会 上り線ブロック役員研修会

2月9日、農協連ビルにて十勝地区農協青年部協議会上り線ブロック役員研修会が開催されました。

本年度はJAめむろ青年部が当番単組となり、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構の積栄（せき えい）氏に農作業事故の事例と防止策について講演していただきました。安全対策は経営と生活を続けるための「営農技術」であり、今後の農業の担い手として、青年部世代が農作業安全について今一度考えることのできた研修会となりました。

また、研修会終了後には懇親会を開催し、JA十勝清水町・JA新得町青年部、十勝地区農協青年部協議会役員と懇親を深めました。



芽室町長芋生産組合 冬期研修会



2月6日、芽室町長芋生産組合（鈴木嗣人組合長）の冬期研修会がJA会議室にて開催されました。研修会は、Zoomによるライブ配信をおこない会場参加者24名、WEB参加者12名の合計36名の参加となりました。

研修会では、『株式会社フクザワ・オーダー農機』『株式会社苫米地技研工業』の2社をお招きし、自社製品の紹介や機械メーカーとしての考え方などについてお話しいただきました。また、JAめむろ農業振興センターから本年産の振り返りと乾物率向上などに係る技術対策について講習いただきました。今後も生産組合として生産者にとって有益となる研修を目指して引き続き取り組んでまいります。

冬季仕事体験会（第1回）を開催しました！

1月8日、令和9年3月卒業予定の学生を対象に冬季仕事体験会を開催いたしました。仕事体験では4名の学生が参加し、事業説明をはじめ、JAめむろ青年部との食事会や冷凍食品加工施設の見学などをおこないました。施設見学では担当部署の職員の説明を受けながら、学びを深めていただきました。

また、JAめむろ青年部との座談会では、1日のスケジュールや仕事のやりがいについて、普段の過ごし方などを共有し、和気あいあいとした雰囲気を実施することができました。

今後の採用活動においても、参加した学生が志望先の一つとして「JAめむろ」を検討していただくため、イベントなどを通して学生へのアプローチを継続的におこないます。



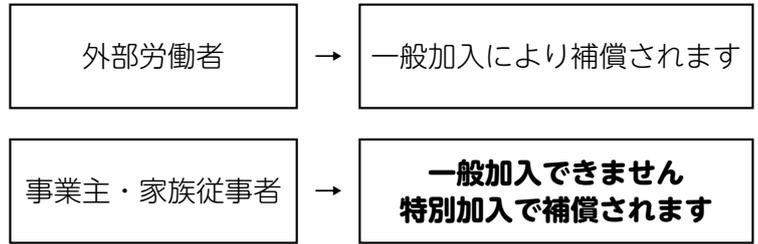
JAめむろ青年部との座談会

～労災保険について～

事業主ならびにご家族が現在加入している労災保険を 今一度ご確認ください!!

「労災保険」は、労働者の業務災害に備えて補償を受けられる制度で、通常は事業主および家族従事者の加入はできません。

しかし、事業主やその家族の方も労働者と同じように作業される実情から「**特別加入**」という形で労災保険に入ることができます。



第1種特別加入（中小事業主など）

- 加入時に申請する所定労働時間内（準備・後始末の業務を含む）であれば、労働者と同等の補償が受けられます。

！ 注意点 ！

- ・労働者を雇用している時間のみ補償されます。
- ・労働者を雇う事業主および家族従事者は特別加入できますが、特別加入のみでは加入できません。

第2種特別加入（特定農作業従事者）

- 以下①～⑤の農作業事故のみ、補償の対象となります。

- ①動力により駆動する機械（トラクター、自走式作業機など）を使用する作業
- ②農作業に附帯する高さが2メートル以上の箇所での作業
- ③サイロ、むろなどの酸素欠乏危険場所での作業
- ④農薬の散布作業中の怪我
- ⑤牛、馬、豚に接触、または接触するおそれのある作業

！ 注意点 ！

- ・第2種特別加入は、上記農作業以外で怪我を負っても労災保険の対象にはなりません。

農業での労災保険加入の現状

	常時雇用の従業員が	
	5人以上	5人未満
法人経営	強制加入	
個人経営	強制加入	任意 ※

義務化へ

※任意加入の場合でも、労働者の過半数が希望する場合や事業主が特別加入している場合は強制加入となります。

義務化時期は未定ですが、**今後任意適用事業は廃止となり、全事業強制適用となります!!**

◎農作業中に怪我をしてしまったら…

農作業中の事故の場合は、労災に該当する可能性があります。

お怪我をされた際、電話で受付ができますので、医療機関受診前に速やかに営農情報課へご連絡をお願いします。

※労働保険の年度更新手続きは押印をいただきますので、ご了承ください。

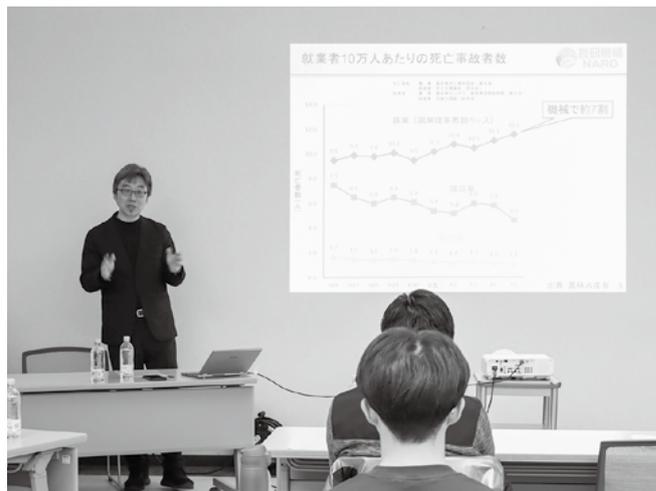
◇労災についてのお問い合わせ◇ 営農部 営農情報課 ☎62-2313

農作業安全研修会を開催しました

2月10日、JA研修室で農作業安全研修会を開催し、15名が参加しました。

講師として、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構の積栄（せき えい）氏を招き、「農作業事故事例と現場の取り組みから考える“本当に効果がある”安全対策」をテーマにご講演いただきました。

日本では農作業事故により年間200名以上が亡くなっており、機械作業による死亡事故が約7割を占めています。研修会では機械作業時の事故事例を中心に、“再発防止”“未然防止”の方法を紹介いただきました。安全対策は「インフラ」であり、経営と生活を続けるための「営農技術」。地域農業と生活を守り、創るために生産者、関係者全員で安全対策に取り組んで欲しいとお話がありました。



農業者年金説明会を開催しました

1月9日、北海道農業会議の佐藤友里子氏を講師に招き、農業者年金説明会が開催され、午前の部・午後の部合わせて31名の方が参加されました。

午前は受給に向けた制度の概要説明や経営移譲の方法について、午後は制度の仕組みとメリットについて説明がありました。出席者は、熱心に講師の話に耳を傾け、積極的に質問をおこない理解を深めていました。

今後も農業者年金説明会を開催する予定ですので、加入・未加入に関わらず、組合員皆様の参加をお待ちしております。





気になるiDeCoとの違いを徹底解説



知って得する！

NOU
NEN

農業者年金 オンラインセミナー

アーカイブ
動画
配信中

▼ これまでのセミナー

第1回 テーマ
「ほったらかし・低リスク投資で老後の資産形成
大きな税制優遇措置もある」

ポイント



農業者年金の
基本について解説



第2回 テーマ
「農業者年金とiDeCoの違い 徹底解説」

CHECK!



ポイント



他の制度との
違いについて解説

第3回 テーマ
「自分らしく輝き続けよう！」

ポイント



農業者年金の
年金額を中心に解説

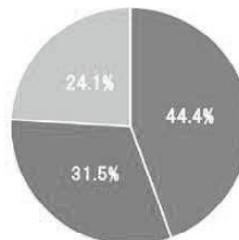
第4回 テーマ
「今すぐ加入が絶対お得！
後悔しない賢い選択！！」

ポイント



早い加入ほどお金
が増えることを解説

◆ 参加者のセミナーに対する評価
約8割の方々が **満足** とお答え
しています。



- ・とても満足
- ・やや満足
- ・普通
- ・少し不満
- ・不満

※第4回セミナーアンケート結果より

▼ 今後の開催予定

◆ 第5回：令和8年3月5日（木）

アーカイブ動画・開催情報は**こちら**

◆ 独立行政法人農業者年金基金Web（オンラインセミナー特設ページ）
URL：<https://www.nounen.go.jp/nounen/seido/gaiyou/seminar/index.html>



独立行政法人
農業者年金基金

お問い合わせ：

企画調整室 ☎03-5919-0332 ✉info@nounen.go.jp



令和8年度 農業用使用済み資材の回収

農業用使用済み資材の回収について下記の日程で実施いたしますので、分別などを徹底し、出荷のご協力をお願いいたします。

【回収日程】

農業用廃プラ 4/16 (木)、6/16・17 (火・水)、8/19 (水)、11/12・13 (木・金)
 農業空容器 6/18 (木)、8/20 (木)、10/8 (木)、11/19 (木)

【廃プラスチック適正処理のご協力のお願い】

昨年は11月の回収時に違反ゴミの混入が散見され、業者から排出条件の厳格化が検討されています。フレコンパックへのコード番号や名前の記載、処理単価の値上げなどにとどまらず、回収自体の拒否につながる可能性がございますので、適正処理のご協力をお願いいたします。

また、回収したプラスチックは火力発電用の燃料として再利用されています。例年、廃プラ回収業者では違反ゴミの混入による火災が後を絶ちません。災害の未然防止のためにも、異物の混入を防ぐことがとても重要となりますので、分別の徹底にご協力ください。

回収の度にフレコンパックの落下報告を受けています。
交通事故、交通妨害の原因となりますので、お持ちになるときは必ず
落下防止対策をしてください。



3・4月 購買事業カレンダー

日	曜日	行	事
3月5日	木	作業衣展示販売会	
3月6日	金	作業衣展示販売会	
3月7日	土	休業	
3月8日	日	休業	
3月9日	月		
3月10日	火		
3月11日	水		
3月12日	木		
3月13日	金		
3月14日	土	休業	
3月15日	日	休業	
3月16日	月		
3月17日	火		
3月18日	水		
3月19日	木		
3月20日	金	休業	
3月21日	土	休業	

日	曜日	行	事
3月22日	日	休業	
3月23日	月		
3月24日	火		
3月25日	水		
3月26日	木		
3月27日	金		
3月28日	土	休業	
3月29日	日	休業	
3月30日	月		
3月31日	火	棚卸休業	
4月1日	水	午前：棚卸監査休業 午後：通常営業	
4月2日	木		
4月3日	金		
4月4日	土	休業	
4月5日	日	休業	
4月6日	月		
4月7日	火		

理事会だより

第11回（1月9日開催）

- ・議案第1号 職員の退職および弔慰金の支給について
- ・協議案1 令和8年度事業計画に係る基本方針について

報告事項

- 1 主要なる内部および外部会議の概要について
- 2 利益相反取引に係る貸付報告について

第12回（1月23日開催）

- ・議案第1号 出資金の譲渡承認について
- ・協議案1 令和7年度冬期地区別懇談会資料について
- ・協議案2 令和8年度事業計画の設定について

報告事項

- 1 令和7年度第3四半期内部監査結果報告について
- 2 第3四半期コンプライアンスに係る対応状況について
- 3 余裕金の運用状況（令和7年度第3四半期末）について
- 4 食品加工事業の販売・製造およびジェイエイめむろフーズ（株）12月末財務実績について
- 5 めむろファーマーズマーケット「愛菜屋」運営結果について
- 6 令和7年度堆肥センター12月末稼働実績について
- 7 組合員の加入・脱退状況について
- 8 特定組合員の令和7年度営農決算および融資について
- 9 食品製造に係る報告について

第12回の理事会は女性部による傍聴のもと開催されました。

連載JAの基礎【報徳編】

第40回 協同組合と報徳24

◆二宮尊徳の生涯から学ぶもの◆

＜尊徳が説く勤労とは＞

尊徳が最も重視したのは、農民の労を嫌うことを戒め、農民自ら自覚し、他人への依頼心を捨て、主体性を持って考え行動し、自らの力で道を切り開く姿勢、つまり、自主・自立することが勤労の基本であることを説いたのです。ですから、勤労を実現しようと、農民の荒れた心の田んぼを美田にするために、「心田開発」に力を入れるとともに、鶏鳴回村し自ら村人たちに範を示したのです。

まず心田の荒蕪を開く

私の生涯の仕事は、すべて荒蕪（こうぶ：土地が荒れはてて雑草の生いしげること）を開くのを務めとしてきた。その荒蕪には幾つかの種類がある。

まず、田畑の荒れたもの、これは国家推しての荒地だ。借財が多くて持ち高を利息にとられ、持ち高はあってもないのと同然のものがある。これは国家のためには生地で、その人のためには荒地だ。

また、土地がやせた粗田で、公租と村費だけの収穫はあるが、耕作者に利益のない田畑がある。これはお上のためには生地で、下の者には荒地だ。

また、身体強壮なのに遊惰に日を送る者がある。これは自他のために荒蕪だ。

また、資産もあり財力もありながら国家もためになることをせず、いたずらに驕奢（大変おごっていてぜいたくな・こと（さま）にふけて財宝を費やすもの）がある。これは世の中で大きな荒蕪だ。

なおまた、知恵も才能もあるのに遊芸を事として、琴三味線や碁将棋・書画などをもちあそんで、世のためを思わずに生涯を送る者もある。これも世の中の荒蕪だ。

これら数種の荒蕪は、その元は心田の荒蕪から発するものだから、わが道はまず心田の荒蕪を開くのを先務としなければならぬ。心田の荒蕪を開いてのち田畑の荒蕪に及んで、この数種の荒蕪を開いて熟田としたならば、国の富強は手のひらをめぐらすように容易であらう。

おそろしいのは東南アジアと北南米の生産力におされ、さらにこんどは中共が加わって、しかも政府の畑作振興が内地の雑穀発展を促しつつあることだ。これと闘つてゆくことは容易ならず、どつちをみても悪条件が重なりつつあるといわねばならない。それでこれに対処するには現在北連が打出している共計よりさらに一歩進んで、計画生産をし、計画販売をしなければならぬということだ。食糧ならなんでも売れた時代とちがつて、いまでは大豆以外はシ好品とみなければならぬ。増産一本やりの生産方式より、このシ好品を対象とした計画生産に進まなければ買手がつかなくなっている。消費に合わない生産などはやはり得ない。その見地に立つて今後の情勢に対処すべきだと考える。」

総務部長の**岩波邦明氏**は、明治四十五年二月二十一日生れ、昭和六年立永山農学校卒、同七年池田町農会、九年満州国協和会中央本部勤務、二十年同北安省本部青少年課長。

その後終戦。二十二年から芽室町農業会、さらに農協に入り、三十年総務部長、二十七年町農業委員。

技術者であり指導者であるが、雄図中途で破れて故郷に引揚げてきた。岩波克敬氏の次男で、さすがこの大先達の血をうけているだけ高い見識をそなえている。文化人的近代センスの持主で、総務の大計と指導面にその体軀同様、堂々たる貫禄をみせている。

総務部次長の**鎌田栄吉氏**は大正六年生れ、清水町出身。昭和九年十月から美蔓組合に奉職以来、信用、倉庫などを手はじめに組合事務一筋で、戦後、支所長や購買部長もやり、目下総務部で広い視野に立つことを学んでいる。堅実型。豊富な経験により欠かせぬ存在となつている。

業務部次長の**野呂幸司氏**は大正二年生れのメモロツ子。昭和十一年に第二美生組合の職員となつているから、これまた古い。十五年倉庫係、十六年倉庫主任、十七年上美生支所長、十八年購買部というわけで、やはり産組時代からの練達者だ。高橋、中田氏らもこうした古参の職員に補佐されて、心強いものがある。

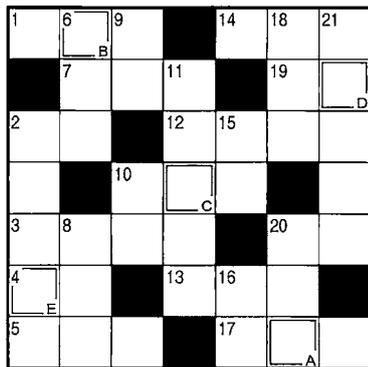
そのほか役員はじめ主任、支所長クラスに人材雲の如くむらがつて大芽室農協を形成しているわけである。

(四月号へつづく)

パズル？ 頭の体操

Q 二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

出題：ニコリ



※解答は4月号に掲載いたします。

2月号の
解 答

ABCD
ゴウカク



→ ヨコのカギ

- お雛様にひな——をお供えた
- 力士が土俵にまくもの
- オーストリアの首都
- 眉間に寄せるもの
- スケジュール帳に書き込みます
- は小説よりも奇なり
- 、雷、火事、親父
- タロットカードや水晶玉などを使っておこないます
- 出身校をこういふことも
- パーが紙ならチョコは
- ショートケーキの真っ赤な彩り果実
- 鳴門海峡には大きなものが発生
- 神社の参拝時に鳴らすこともあります

↓ タテのカギ

- 卒業生代表が壇上で卒業——を受け取った
- チューナーで選局して聞きます
- わんこそばやじゃじゃ麺で知られる県
- 精算するために並びます
- アルファベットの7番目
- 通知表ともいいます
- 走ること。ウイニング——
- 日本庭園の池に似合う魚
- 熱波師が活躍しているところもあります
- 糖度計の——を読み取った
- 夫婦——で旅行に行った

解 答 欄

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

芽室町農協史

【本篇・芽室町農協の十年】

連載 No. 64

人材にめぐまれる

人物にめぐまれていた点はさきの引用文にもあつたが、高橋組合長はじめ中田専務について、多くの人材が組合運営に参加している。現副組合長の**前塚茂一**氏は芽室の長老的存在である。

昭和二年―九年まで村農会総代員。
昭和三年―二十年十月まで村、町
会議員。

昭和二十二年六月―三十三年現在
まで町議会議長。

昭和四年六月―十五年四月まで第
二美生組合監事芽室農業委員四期。

昭和八年芽室町利用組合監事。
昭和十六年六月芽室町産組理事。

その後農会副会長、農業会理事
の経歴の示す通り、農協に大きな威
力を加える存在である。



家畜祭風景

前塚氏の前任副組合長**高橋要蔵**氏は農民同盟に拠つて戦後の農民
運動を推進してきた人で、

二十年十二月―現在町議會議員
の長きにわたり、また

町教育委員、道民生委員、都市計画道地方審議会委員、食糧調整
委員長、町農業改良委員長（知事委嘱）農業調整委員など実に多く

の公職をつとめ、さらに農協副組合長、同監事代表、十勝地区監事協議会会長、北海道監事協議会常任理事、また現在十勝地区農同副執行委員長をつとめている。四十八歳。

代表監事**後藤新三**氏は明治三十四年五月七日岐阜県に生れ、渡道は大正六年であつた。

芽室農協が昭和二十三年に設立された当初から今日まで一貫して監事をつとめ、その精通せる監査の眼を十二分に發揮して万全を期している。

昭和八年芽室町経済更生計画委員となり、その後食糧調整委員、農地委員、民生委員または美生川電力利用組合監事を設立以来七年つとめるなど公務多忙な活動人である。

また名古屋支所長を最後に退任した**柴田春吉**氏は明治四十一年二月愛知県尋常高等小学校に入學、大正七年三月芽室村美蔓に父母と移住、西士狩小学校五年に入り、卒業後十勝青年学校を修了した。

大正十四年十月一日、当時の美蔓組合に事務員として奉職、三十円の月給を振出しにこの道のベテランコースへと進んだ。

三組合合併後、購買部長、倉庫部長、坂ノ上支所長などを歴任して、農業会時代は専務理事として腕をふるい、戦後の農協設立当時は会計主任のポストにあつた。二十三年業務部長、二十五年購買部長、二十六年七月参事に選任されるとともに、雑こく統制解除により使命重大な名古屋支所長を兼務、日本全国を相手に販路拡張の腕をふるい、今日の販売に貢献するところ大であつた。三十三年故郷の名古屋で独立するため愛惜のうちに退任した。

三十三年一月に参事となつた**宮田勝二**氏は明治四十五年生れ、昭和八年第二美生組合職員として勤務、以来この道一筋、農業会時代の総務部長でもあつた。農協設立当時の総務部長はじめその後の職名は前記の通りで、ほかに

北連雑穀委員（二十八年より現在）
全購連情報委員（三十二年より現在）
道食糧事務所査定委員

などをつとめているが、戦前の産組時代からの最ベテランとして中田専務の文字通り片腕として大きな貢献があつた。ともあれ「豆の芽室」の自由販売からの販売に、戦前派の腕前を示し、この方面のオーソリテイであると同時に農協をガツチリ支えた大きな支柱である。

その雑こく販売のベテランは、愛する芽室農業のあり方について、つぎのような意見を持っている。

「芽室の農業はどこまでも雑こく主体である。いまさら転換出来るものではない。どこまでも雑こくに主力をおいてゆくほかはないのだ。しかし雑こくにとつて一番

毎日いきいき元気に！

「いきいきりハビリ教室」申し込み受付中

高齢者の方に健康的な毎日を過ごしていただくため、体力低下やもの忘れの予防、意欲向上を目的に「いきいきりハビリ教室」を実施しています。

新規利用は、全戸発送でご案内（申し込み書）を同封していますので、ぜひ、この機会にお申し込みください。

◇ご注意ください◇

- ・曜日により、定員に達している場合は待機とさせていただきますことがあります。
- ・現在利用されている方や申し込み済みの方は提出の必要はありません。

○ご利用いただける方

65歳以上の方

※介護保険制度で要支援1～2と判定されている方は、芽室町役場高齢者支援課介護予防係（TEL：62-9724）にご相談ください。介護保険制度で要介護1～5と認定されている方はご利用いただけません。

○実施日および実施内容

いきいきりハビリ教室	
実施日	<p>【1日コース】 月曜日 (年40回)</p> <p>【2時間コース】 火・水・木・金曜日のいずれかの週 1回(年40回) ※体力に合わせたクラス分けをしています</p>
実施時間	<p>9時30分～15時30分</p> <p>火・水・金曜日 13時30分～15時30分 木曜日 10時00分～12時00分</p>
内 容	運動プログラム、脳トレーニング、口腔機能向上プログラム、レクリエーションなど
送 迎	あり（自宅→会場→自宅）
利 用 料	月額2,400円+（食事代）600円／回 月額1,200円

※申し込みされた方には、後日、町担当職員の方からご連絡いたします。

【お問い合わせ】 営農部 営農情報課 TEL 62-2313